



平成 30 年 3 月

米沢市文化財年報 No.30

米沢市教育委員会



▲花沢 A 遺跡第 3 次調査区全景（東から撮影）

花沢 A 遺跡は、米沢駅の北西約 700m 地点、最上川（松川）東岸の河岸段丘上に所在する縄文時代中期末葉（今から約 4,500 年前）を中心とする遺跡です。今回の発掘調査は、宅地造成工事に伴う緊急発掘調査として、6 月 12 日から 10 月 6 日までの約 4 ヶ月にわたり実施しました。調査面積は、約 3,170㎡となっています。

調査では、総数約 400 基の遺構が確認されました。遺構の多くは縄文時代のものですが、少数ながら奈良・平安時代や近世の遺構も確認されました。特筆すべきは、24 軒もの竪穴住居跡群で、その中でも、複式^{ふくしきろ}炉と呼ばれる大型の石組^{いしぐみ}炉を伴う住居跡が 14 軒確認されました。また、約 300 基の土坑^{どこう}群も確認され、お墓や貯蔵^{ちよぞうけつ}穴といった用途が考えられます。遺物は、縄文土器を中心に整理用コンテナで 150 箱分以上出土しており、大半が縄文土器となっています。

現在、平成 30 年度の報告書刊行に向け、整理作業を進めています。

埋蔵文化財事業

今年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び確認調査の依頼件数は、平成30年2月28日現在で40件、開発事業に伴う緊急発掘調査3件を含めると43件となりました。これらのうち、主な調査成果について紹介します。

【大南遺跡緊急発掘調査受託事業（第2次調査）】

昨年度からの継続事業で、今年度は4月19日から11月30日までの期間で約14,000㎡の発掘調査を実施しました。主に遺跡の西側と昨年度発見した中世の堀跡の調査を行いました。調査の概要は特集で紹介していますので、そちらを御覧ください。

なお、2ヶ年の調査成果をまとめた報告書を、平成31年度に刊行する予定です。



▲大南遺跡の発掘調査風景

【館山城跡保存整備事業】

今年度は大南遺跡と花沢A遺跡の調査対応のため、館山城跡の史跡整備にむけた調査を行うことはできませんでした。なお、伊達政宗生誕450年という節目の年であることから、伝国の杜エントランスにおいて覚範寺廃寺など市内の伊達氏関連遺跡から出土した遺物と共に展示を行い、史跡の広報活動を行いました。

来年度は大南遺跡と花沢A遺跡の整理作業を行いますので、事業の再開は平成31年度以降の予定です。



▲伝国の杜エントランスでの展示風景

【花沢A遺跡の緊急発掘調査（第3次調査）】

○遺跡の概要

花沢A遺跡の発掘調査は、昭和62年に行われた分布調査（第1次調査）に端を発します。第1次調査では、竪穴住居跡2軒をはじめ、土器埋設遺構、近世の土坑が確認されました。そのことから、花沢A遺跡は縄文時代中期末葉の集落跡であることが確認されました。その後、平成19年に、福祉施設建設に伴う緊急発掘調査として第2次調査が行われました。第2次調査では、竪穴住居跡1軒、土坑が51基が検出されたほか、土器埋設遺構や数多くの石器類が出土しました。

○調査に至る経緯

今回実施した第3次調査は、平成29年1月に宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘の届出が事業者から提出されたことに起因します。平成29年4月に遺構・遺物の広がり



▲9号住居跡（手前が複式炉）



▲土器出土状況①

を確認する調査を行いました。その結果、事業面積 9,570 m²のうち、遺構・遺物が確認された 3,170m²について記録保存のための発掘調査を実施することで事業者と調整を図りました。

○検出遺構

第3次調査では、総数約 400 基の遺構が確認されました。内訳をみると、土坑約 300 基、^{どこう} 竪穴住居跡 24 軒、その他の遺構として柱穴や溝跡があります。遺構の空間構成を考えると、東側に住居跡群、空白地を挟み西側に土坑群が検出されました（巻頭写真参照）。花沢 A 遺跡の集落構造を考えると、住居が作られる場所と貯蔵穴やお墓といった土坑が作られる場所が区別されていた可能性があります。

また、竪穴住居跡 24 軒のうち 14 軒から^{ふくしきろ} 複式炉が確認できました。複式炉からは、焼け焦げた土器や石が出土しました。当時の縄文人は複式炉を調理や暖房に利用していたと考えられます。

○出土遺物

遺物は、整理用コンテナに換算し、約 150 箱分出土しました。遺物の大半は、「大木 10 式」と呼ばれる縄文時代中期末葉に特有の土器が占めます。特に遺存状態が良好な土器は住居跡や土坑から出土しており、平成 30 年度の報告書刊行に向け、分類・復元作業を進めています。

また、石器類も多く出土しました。内訳は、^{さつき} 削器・^{そうき} 搔器類 25 点、^{せきぞく} 石鏃 24 点、^{いしきじ} 石匙 12 点、^{せきすい} 石錐 9 点、^{ませいせきふ} 磨製石斧 7 点、^{いしざら} 石皿 6 点、^{だせいせきふ} 打製石斧 3 点の他、多量の^{くぼみいし} 凹石や^{すりいし} 磨石が出土しました。その他の特徴的な遺物として、^{せきけん} 石剣と^{くだたま} 管玉がそれぞれ 1 点出土しました。

○まとめ

今回の第 3 次調査では、調査区の東側に居住空間、空白地を挟み西側に土坑群（貯蔵穴・お墓）が配置されている状況が確認できました。このことは縄文時代中期の集落構成を考える上で、大きな手がかりとなる成果といえます。

今年度は、大南遺跡・花沢 A 遺跡という 2 つの発掘調査が中心となる多忙な一年となりました。そのような中、調査成果を報告する現地説明会では、両遺跡合わせて約 200 名の皆様に参加されました。また、花沢 A 遺跡では、授業の一環として、地元の米沢女子短期大学や第一中学校の学生・生徒が現場見学に訪れ、調査担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。末筆になりますが、今年度の事業に御協力を賜りました関係者の皆様にお礼申し上げますとともに、今後も変わらぬ埋蔵文化財保護への御理解と御協力をお願いいたします。



▲土器出土状況②



▲発掘調査風景



▲米沢女子短期大学学生の現場見学



▲米沢市立第一中学校の現場見学

一般文化財事業

今年度の一般文化財事業では、多岐にわたる事業に取り組み、例年以上に多くの事業を実施しました。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院庫裏) 保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩を復興させた「名君」として知られる上杉治憲(鷹山)が師の細井平洲先生を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。

今年度で普門院庫裏工事6年目となりました。今年度の工事は、木工事と屋根工事を中心に行い、屋根工事は完了しました。来年度中に普門院庫裏は竣工できるように事業を進めていきます。また、今年度も例年の見学会に加えて、米沢女子短期大学や関根小学校等、史跡の保存修理現場を案内する機会があり、文化財の活用にも力を入れました。



▲保存修理見学会



▲屋根工事の様子

【国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」危険木伐採事業】

米沢藩主上杉家墓所は、平成28・29年度の2ヶ年で危険木の伐採を行いました。今年度は史跡北側を中心に約100本の危険木の伐採と枝払いを行いました。伐採と枝払いにより危険木等は解消され、史跡内の安全確保も図られました。

今後は、杉木の生育状況を確認しながら、史跡の適切な維持管理に努めていきます。



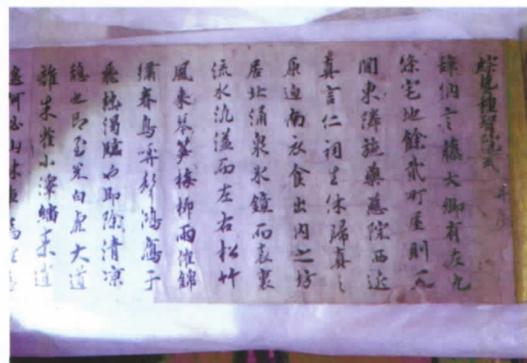
▲上杉家墓所危険木伐採状況

【上杉神社重要文化財保存修理事業】

上杉神社所有国重要文化財「後奈良天皇宸翰般若心経」と「綜芸種智院式」の2件が文化庁の補助を受け、京都国立博物館内の文化財保存修理所で保存修理が実施されました。



▲後奈良天皇宸翰般若心経



▲綜芸種智院式

【県指定文化財「木造伝長井時広夫妻坐像」保存修理事業】

万世町堂森の善光寺が所有する木造伝長井時広夫妻坐像は、平成28・29年度の2ヶ年事業で保存修理を終えました。

修理の終了後には、檀家と市民を対象とした開眼供養と、保存修理に関する講演会を、修理を担当した牧野隆夫氏（吉備文化財修復所所長）を講師に迎えて開催しました。長井時広のことや、なかなか触れることのできない文化財の保存修理の様子を丁寧にお話いただきました。



▲保存修理が完了した伝時広像と夫人像

【上杉神社重要文化財服飾類調査】

昨年度に引き続き、国指定重要文化財である伝上杉謙信・景勝所用の服飾類の調査を行いました。

今年度は9月に文化庁の伊東調査官・興石技官を中心に行われ、服飾類の状態を1点1点丁寧に確認調査し、修理が必要かどうかの判別を進めました。来年度も引き続き、調査を継続し、全点の確認を進めていきます。



▲伊東調査官らによる服飾類の調査風景

【「笹野観音と西国三十三観音 歴史と伝統の息づく里」が「未来に伝える山形の宝」に登録】

ささの里づくり推進協議会の申請した笹野地区の取り組みが県の「未来に伝える山形の宝」に登録されました。笹野地区には、笹野観音堂と西国三十三観音、笹野一刀彫など、さまざまな文化財・伝統があり、今後はこれらの地域資源を活かした地域活性化の活動が期待されます。この登録により本市の山形の宝の登録は、3件となりました。



▲笹野観音堂

【企業メセナ等】

今年度は、県みどり推進機構の郷土の名木・古木等保全事業により県指定天然記念物長町裏のエゾエノキ樹勢回復事業、沖永財団の地域文化活動事業助成により綱木獅子踊り衣装整備事業、丸高財団の地域文化活動助成事業により万世大路整備事業を実施するなど、民間助成による事業も多く実施できました。文化財関係予算の厳しい状況が続く中、民間の力も活用し、地域と連携しながら、文化財保護に努めていきます。

上記の他にも例年どおり、市指定史跡直江石堤の草刈・雑木除去や国・県指定文化財への管理補助事業、県指定無形民俗文化財梓山獅子踊りへの補助事業を行い、文化財指定候補の調査なども実施しました。また、日本民具学会大会が米沢で開催され、初めて学会の運営にも協力するなど、多くの事業に取り組むことが出来ました。

今後とも文化財保護への御理解と御協力を、よろしくお願いします。

《第6回 文化財事業特集：大南遺跡の発掘調査》

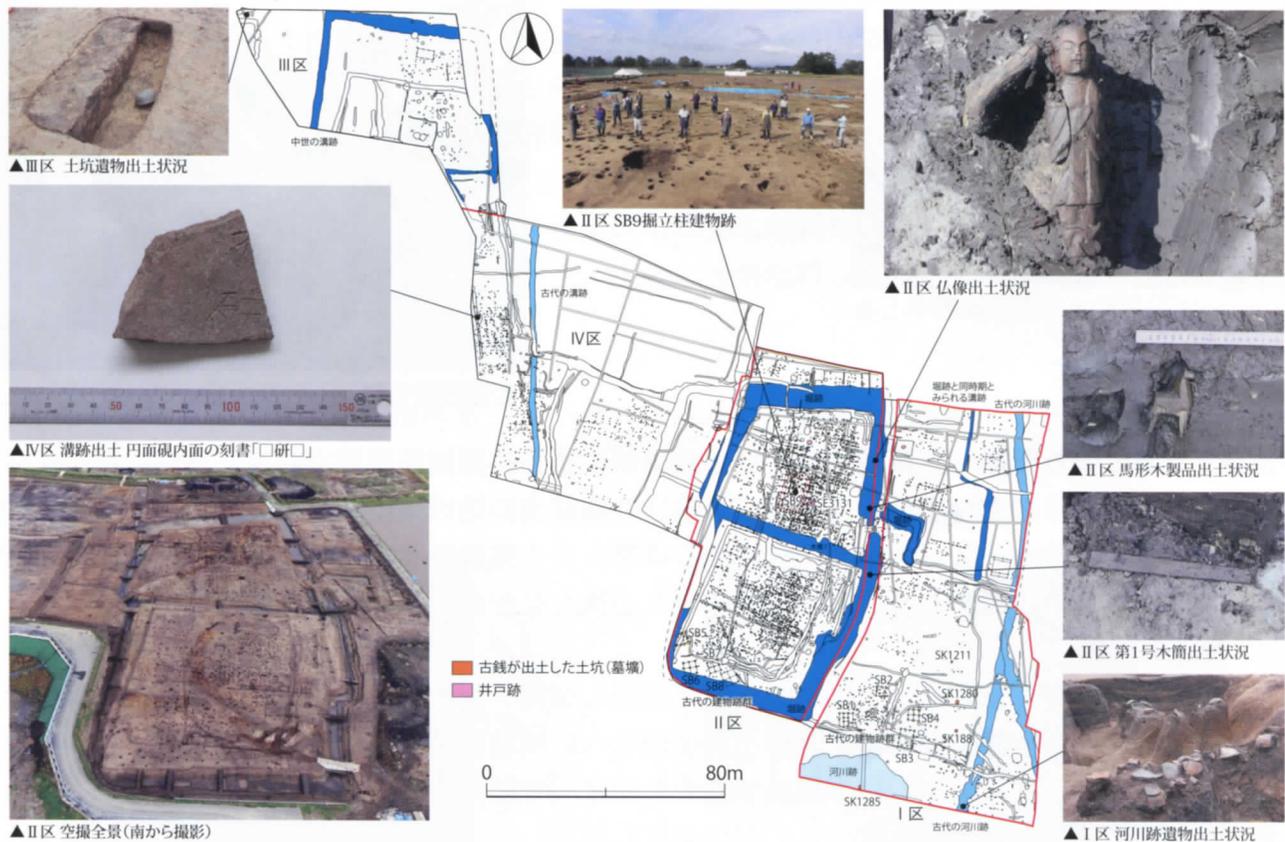
特集では、平成28・29年度の2ヶ年で実施した大南遺跡第1・2次発掘調査の概要を紹介します。本遺跡は、米沢市北東部の浅川地区に所在し、天王川右岸の自然堤防上に立地します。浅川最終処分場の拡張整備工事に先立って、約27,600㎡の範囲を対象に記録保存を目的とした発掘調査を実施しました。縄文時代から近世にかけての遺構・遺物が発見されており、長期にわたる人々の営みが確認されました。特に古代（奈良・平安時代）と中世の段階で大きな発見がありましたので、これらについて詳しく紹介します。

○古代の大南遺跡 ～官衙に関わる集落跡？～

I・II区（平成28年度調査区）南側で、この時期の掘立柱建物跡を8棟発見しました。一般的な側柱建物の他に、倉庫跡と推定される総柱建物もあります。I区の建物跡群の東側に古代の河川跡があり、ここから土師器・須恵器を中心に多く遺物が出土しています。III区（平成29年度調査区）北西端で長方形の土坑から完形の須恵器杯が伏せられた状態で出土しており、意図的に埋納した可能性があります。

特筆すべき遺物として、大浦B遺跡などの官衙（古代の役所）遺跡から出土することが多い円面硯、須恵器稜碗、巡方（石製のベルト飾り）があります。円面硯の内側には「□研□」（□は判読不明の文字、「研」は「硯」と同義）と刻書されています。また、「善」・「金」・「丈」といった文字が墨書された土器も出土しています。

これらの出土遺物から官衙に仕えた役人の存在が浮かび上がってきます。8・9世紀頃には官衙に関連する集落・施設があったのではないかと考えています。



▲大南遺跡第1・2次調査全体図

平成 29 年度 米沢市文化財関係事業

区 分	平成 29 年度の重点事項	平成 29 年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.30の発行 ・平成29年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回H29.7.18 第2回H30.3.7) ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会への参加 (秋田県北秋田市) ・山形県史跡整備市町村協議会への参加(山形市) ・埋蔵文化財資料室・史跡等の見学対応、出前講座、米沢 チャレンジウィークの受け入れ ・日本民具学会大会開催補助
2. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 ○埋蔵文化財の保存・活用・普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川最終処分場整備事業に伴う「大南遺跡」緊急発掘調査 受託事業 ・民間開発事業(宅地分譲)に伴う「花沢A遺跡」緊急発掘 調査受託事業 ・市内遺跡発掘調査事業 ・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地等におけ る土木事業前の分布調査、試掘・確認調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書第113集の刊行 ・米沢市埋蔵文化財資料室の維持管理 ・伊達政宗生誕450年記念館山城跡展示 ・花沢A遺跡・大南遺跡発掘調査現地説明会開催
3. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護・活用 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財及び指定文化財の調査 ・上杉神社文化財(服飾類・大般若経等)の調査 ・文化財巡回指導(国・県指定文化財) ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続 (10年目) ・上杉神社国重要文化財保存修理事業 ・国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」危険木伐採事業 (2ヶ年事業の2年目) ・県指定文化財「木造伝長井時広夫妻坐像」保存修理事業 (2ヶ年事業の2年目) ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護 調査 ・県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」樹勢回復事業 ・文化財防火デー(笹野観音堂) ・「未来に伝える山形の宝」・企業メセナ申請補助 ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」 及び同「米沢藩主上杉家墓所」の管理等に係る補助 ・県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」に係る補助 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」・「館山城跡」及び市指定史跡 「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」の環 境整備(草刈・雑木除去等の実施) ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号
教育管理部文化課文化財担当

T E L : 0238 - 22 - 5111 (内線 7530、7531)

F A X : 0238 - 21 - 6020

E-mail : bunkazai-t@city.yonezawa.yamagata.jp